農研機構とロボットベンチャーのタッグで製品化が実現！

協働運搬ロボット

メカロンは、違いがある！

▲農研機構と共同開発した
協働運搬ロボット「メカロンEシリーズ」
株式会社 Doog

国立大学法人筑波大学発ベンチャーでもある株式会社Doog では、人と協調して農作業する「協働」をコンセプトとして、コンパクトで、操作が簡単、使い勝手が良いクローラ型の運搬ロボット「メカロン」を、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と共同開発しました。

「メカロン」は、年間通じて多様な農作業に利用できる汎用的な運搬ロボットです。特に果樹園において、農業従事者に追従して収穫や肥料散布や剪定作業などに活用され、複数人の現場では作業者間を自動走行で往復させることができます。さらに、多様な作業機との組み合わせや、上位システムから運行を制御するような応用もできる汎用性があり、農作業の負担の軽減や作業効率の向上、人手不足の解消に貢献することが期待されています。

本セミナーでは、株式会社Doog 代表取締役社長の大島 章氏から、主力製品の車輪型の運搬ロボット「サウザー」が製造などの他分野でどのように普及しており、農業分野で「メカロン」を普及させることの課題感や他業界の運搬ロボットとの違いについて紹介していただきます。

本セミナーの詳細は、ホームページよりご確認ください。

開催日時：令和7年

9月5日（金） 14:00～15:30

ONLINE Seminar

参加費無料
定員100名

講師 株式会社Doog代表取締役社長 **大島 章**（おおしま あきら） 氏

2009.03 筑波大学大学院システム情報工学研究科修了。
2009.04 日立製作所日立研究所(旧機械研究所) 入社
（物流向けロボット、屋外交通移動ロボット、運転支援カメラシステムの研究に従事）。
2012.10 日立製作所日立研究所(旧機械研究所) 退職。
2012.11 株式会社Doog 創業 “道具として役立つ移動ロボットで人々を笑顔に” を理念に、
人が仕事や生活をする近くで安全で確実に動作する移動ロボットを開発・製造・販売。

受講をご希望の方は、筑波産学連携支援センターのホームページよりお申し込みください。
申込締切日：令和7年8月31日（日曜日）まで

筑波産学連携支援センター

[お問い合わせ]
農林水産省農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課　担当：森田・鈴木・木暮
TEL.029-838-7136　E-mail: koryu7129@cc.affrc.go.jp
ホームページURL：https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/